

# 林 務 課

# 令和5年度（2023年度）林務部施策体系

政策の柱	大項目	事業名
1 持続可能で安定した暮らしを守る	地球環境を保全する	<ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオマス循環利用普及促進事業</li> <li>新 <input type="checkbox"/> 林地残材有効活用推進支援事業</li> <li>● あたりまえに木のある暮らし推進事業</li> <li>● 信州の森林づくり事業（公共・県単）</li> <li>新 ● ・人工造林・初期保育の高上げ</li> <li>● ・防災・減災のための里山整備</li> <li>● 地球温暖化防止吸収源対策推進事業</li> <li><input type="checkbox"/> 森林経営管理体制支援事業</li> <li>野生鳥獣総合管理対策事業</li> <li>ICTを活用したシカ広域捕獲推進事業</li> <li>新 ● ・広域捕獲活動支援事業</li> <li>● ・シカによる森林被害緊急対策事業</li> <li>● ・奥地等シカ捕獲推進事業</li> </ul>
	災害に強い県づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>治山事業（公共・県単・直轄）</li> <li>● 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕</li> <li>● ・防災・減災のための里山整備</li> <li>新 ● 市町村森林整備支援事業</li> <li>林業公社事業費</li> <li>松林健全化推進事業</li> </ul>
2 創造的で強靱な産業の発展を支援する	産業の生産性と県民所得の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道事業（公共・県単）</li> <li>● 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕</li> <li>新 ● ・人工造林・初期保育の高上げ〔再掲〕</li> <li>高性能林業機械導入推進事業</li> <li>林業総合センター試験研究普及費</li> <li>木材産業循環成長対策事業</li> <li>林業種苗生産拡大対策事業</li> <li><input type="checkbox"/> ・エリートツリー等種子安定供給事業</li> <li>林業労働力対策事業</li> <li>● 森林整備担い手育成確保総合対策事業</li> <li>新 <input type="checkbox"/> ・信州の森林で働く人材確保推進事業</li> <li><input type="checkbox"/> ・林業労働力緊急確保対策事業</li> <li><input type="checkbox"/> ・林業労働力活用促進対策事業</li> <li>新 ● 多様な林業の担い手確保育成事業</li> <li><input type="checkbox"/> 林業大学校運営事業</li> <li>林業就労条件整備促進事業</li> <li><input type="checkbox"/> 林業労働災害防止対策事業</li> <li><input type="checkbox"/> 持続的な林業経営の確立支援事業</li> <li><input type="checkbox"/> スマート林業構築普及事業</li> <li><input type="checkbox"/> 森林路網DX推進事業</li> <li>保安林台帳電子化事業</li> <li>新 国際林業技術交流事業</li> <li><input type="checkbox"/> 森林情報基盤整備事業</li> </ul>
	人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ウッドもつとつなく事業</li> <li><input type="checkbox"/> ウッドチェンジ普及促進支援事業</li> <li>● あたりまえに木のある暮らし推進事業〔再掲〕</li> </ul>
	地域に根差した産業を活性化させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業労働力対策事業〔再掲〕</li> <li>新 <input type="checkbox"/> ・信州の森林で働く人材確保推進事業〔再掲〕</li> <li><input type="checkbox"/> 林業労働災害防止対策事業〔再掲〕</li> </ul>
3 快適でゆとりのある社会生活を創造する	住む人も訪れる人も快適な空間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>新 ● 森林サービス産業総合対策事業</li> <li>新 ● 開かれた里山の整備事業</li> <li>戸隠森林植物園・森林学習館管理事業</li> <li>県民の森管理事業</li> </ul>
4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	働き方改革の推進と就労支援を強化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な林業の担い手確保育成事業〔再掲〕</li> </ul>
5 誰もが主体的に学ぶことができる社会をつくる	高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業大学校運営事業〔再掲〕</li> </ul>

長野県総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン3・0）

# I 森林・林業の概要

## 1 森林の現況

管内の国有林と民有林を合わせた森林面積は、100,927ha で、地域全体に占める森林の割合（森林率）は65%であり、県の平均値（78%）よりも低い。

民有林の面積は81,203ha で、このうち人工林面積は37,177ha であり、人工林率は45.8%となっている。

市町村別森林面積

(単位：ha %)

市町村	森林面積	森林率	内 訳						
			国有林面積	民 有 林					
				計	人工林	人工林	天然林	その他	
長野市	52,496	62.9	11,043	41,452	18,417	44.4	21,624	1,411	
須坂市	10,196	68.1	1,848	8,348	4,629	55.5	3,263	456	
千曲市	6,906	57.6	0	6,906	3,570	51.7	3,177	159	
坂城町	3,602	67.1	0	3,602	1,539	42.7	1,988	75	
小布施町	254	13.3	0	254	59	23.2	176	19	
高山村	8,378	85.0	830	7,548	3,384	44.8	3,537	627	
信濃町	10,828	72.5	5,557	5,271	2,369	44.9	2,828	74	
飯綱町	3,972	53.0	366	3,606	1,704	47.2	1,888	14	
小川村	4,300	74.0	84	4,216	1,504	35.7	2,626	86	
管内計 (A)	100,927	64.8	19,724	81,203	37,177	45.8	41,109	2,917	
構成比	100.0		19.5	80.5	36.8		40.7	2.9	
長野県	県合計 (B)	1,056,902	78.0	369,796	687,107	334,851	49.2	333,457	18,799
	構成比	100.0		35.0	65.0	31.7		31.6	1.8
県に占める割合 (A/B)		9.5		5.3	11.8	11.1		12.3	15.5

注) 1 長野県民有林の現況（令和4年9月1日現在）による。（長野地域総面積：155,800ha）

2 四捨五入のため、計と内訳の合計が一致しない場合がある。

### ■ 所有形態別面積

森林面積 100,927 ha		
民有林 81,203 ha (80.5%)		国有林
	私有林 66,640 ha (66.0%)	19,724 ha (19.5%)
	公有林 14,563 ha (14.4%)	

### ■ 民有林樹種別面積

民有林面積 81,203 ha					
人工林 37,177 ha (45.8%)			天然林 41,109 ha (50.6%)		
カラマツ 17,190 ha (21.2%)	スギ 16,722 ha (20.6%)	アカツ 6,063 ha (7.5%)		広葉樹 36,674 ha (45.1%)	
		ヒノキ 812 ha (1.0%)	その他針葉樹 821 ha (1.0%)	無立木地等 2,917 ha (3.6%)	

## 2 林産物の生産状況

管内の林産物生産額（推計）は、特用林産物が6億6千2百万円余（前年比 263.2%）、木材関係が9億2千5百万円余（前年比 117.7%）、合計 15 億 8 千万 7 百万円余（前年比 152.6%）である。

### ア 特用林産物（R3）

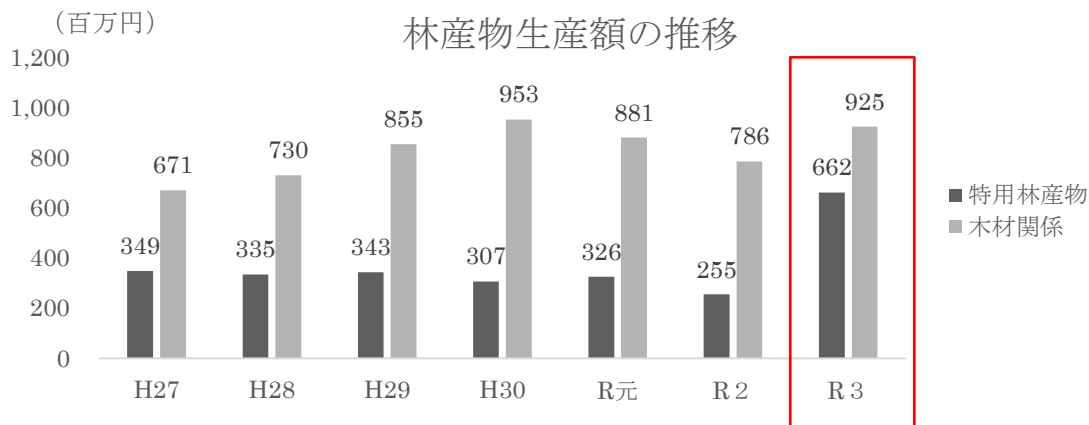
種別	区分	生産量		生産額（推計）	
			前年比（%）	（千円）	前年比（%）
特 用 林 産 物	生しいたけ	21.0 t	122.0	11,912	59.7
	なめこ	1,456.1 t	344.6	595,994	372.0
	まつたけ	0.2 t	100.0	662	103.4
	木炭	464.6 t	149.3	21,383	148.5
	山菜	8.2 t	86.3	4,406	69.2
	その他	—	—	28,020	121.0
	計	—	—	662,377	263.2

（注）R3年特用林産物生産統計調査（R3年1月～R3年12月）による。

### イ 木材関係（R3）

種別	区分	生産量		生産額（推計）	
			前年比（%）	（千円）	前年比（%）
木 材	一般用材等	65,652 m <sup>3</sup>	98.1	922,870	117.7
	しいたけ原木	9.0 千本	128.6	2,360	135.4
	計	—	—	925,230	117.7

（注）一般用材等の生産量については、R4年度長野県木材統計（R3年1月～R3年12月）による。  
しいたけ原木については、R3年特用林産物生産統計調査（R3年1月～R3年12月）による。



## 3 林業従事者数の推移

（単位：人）

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
森林組合	62	59	60	58	58
会社	66	55	50	48	49
個人営業	15	19	18	14	19
その他	34	30	30	28	26
計	177	163	158	148	152
県全体	1,594	1,499	1,446	1,449	1,499

（注）長野県林業事業者調査による

## II 森林整備と林業振興について

### 1 主伐・再造林の推進

#### (1) 現況と課題

戦後植林された人工林の多くが利用可能な段階を迎えており、この森林資源を活かした林業振興と偏った齢級構成の平準化を図るため、主伐による木材生産と再造林等による森林造成を推進する必要がある。

#### 【管内の民有林の現況】

区 分	民有林	人工林	3～12 齢級の人工林 (主に間伐の対象となる林齢)	11 齢級以上の人工林 (主に主伐の対象となる林齢)
面 積 (ha)	81,203	37,177	10,395	26,729
占有率 (%)	100.0	45.8	12.8	32.9

出典：長野県民有林の現況（令和4年9月1日現在）

#### (2) 対応状況

森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるとともに、森林資源の資質向上と地域材の活用を図るため、森林経営計画の作成、高性能林業機械の導入や路網整備、林業のデジタル化の支援を行うとともに、林業事業者の育成と人材養成も併せて総合的に実施する。

#### 【管内民有林における主伐・再造林の推移】

単位：ha

年	H29	H30	R 元	R2	R3
主伐	81	65	65	76	73
再造林	3	2	3	7	7
天然更新	64	58	58	65	60

主伐には電力会社による線下伐採を含む。

主伐－再造林－天然更新＝森林以外への転出。

出典：令和3年度森林計画関係業務報告（伐採及び伐採後の造林の届出）

#### 【高性能林業機械等の導入実績及び計画】

単位：千円

区 分	事業主体	令和4年度実績		令和5年度計画	
		事業内容	補助金額	事業内容	補助金額
高性能林業機械 導入推進事業	長野森林組合	ウインチ付グラ ップル 1台	5,826	フォワーダ 1台	7,185
	北信木材生産セ ンター協同組合	グラップル付ト ラック 1台	5,338	ウインチ付グラ ップル 1台	6,088
		フォワーダ1台 (R5へ繰越)	7,483		
計		3台	18,647	2台	13,273

【森林経営計画認定状況】

単位：ha

区 分	H28	H29	H30	R元	R 2	R 3	R 4
認定面積	1,445	626	2,845	2,087	2,012	2,157	1,032
当該年度有効面積	13,259	13,885	11,376	9,817	9,015	9,727	10,133
民有林カバー率	16.3%	17.1%	14.0%	12.1%	11.1%	11.9%	12.5%

(注) 認定面積は年度中に認定された面積  
 当該年度有効面積は年度末時点の認定有効面積  
 県知事認定の計画（県営林、林業公社等）は含めない

(3) 森林経営管理制度の運用における市町村の支援

経営管理が行われていない森林について、長野地域では森林所有者の意向や林業事業者の要望を市町村が仲介（マッチング）する手法【長野地域モデル】により、林業経営の効率化と森林管理の適正化を図った森林整備を促進していくこととしている。

管内市町村では森林環境譲与税を活用して制度対象森林の選定や森林所有者の意向調査等に順次着手しており、「長野地域連絡会議」等を通じて市町村の取組を支援している。

【市町村別森林環境譲与税額及び主な使途】

区 分	譲与税額（千円）				R元～R3の主な使途				
	R元	R 2	R 3	R 4	調査準備	意向調査	森林整備	木材利用	基金積立
長野市	45,069	95,774	95,870	126,690	●	●	●	●	●
須坂市	7,296	15,506	15,514	19,480	●	●	●	●	●
千曲市	5,030	10,690	10,330	14,594	●	●	●	●	●
坂城町	1,988	4,225	4,195	5,534	●	●	●	●	●
小布施町	520	1,106	1,108	1,588	—	—	—	●	●
高山村	3,926	8,342	8,384	11,286	●	●	●	●	●
信濃町	4,243	9,018	9,023	11,416	●	●	—	●	●
飯綱町	2,132	4,532	4,526	6,124	●	●	●	—	—
小川村	2,190	4,656	4,666	6,470	●	●	●	—	●
計	72,394	153,849	154,615	203,182					

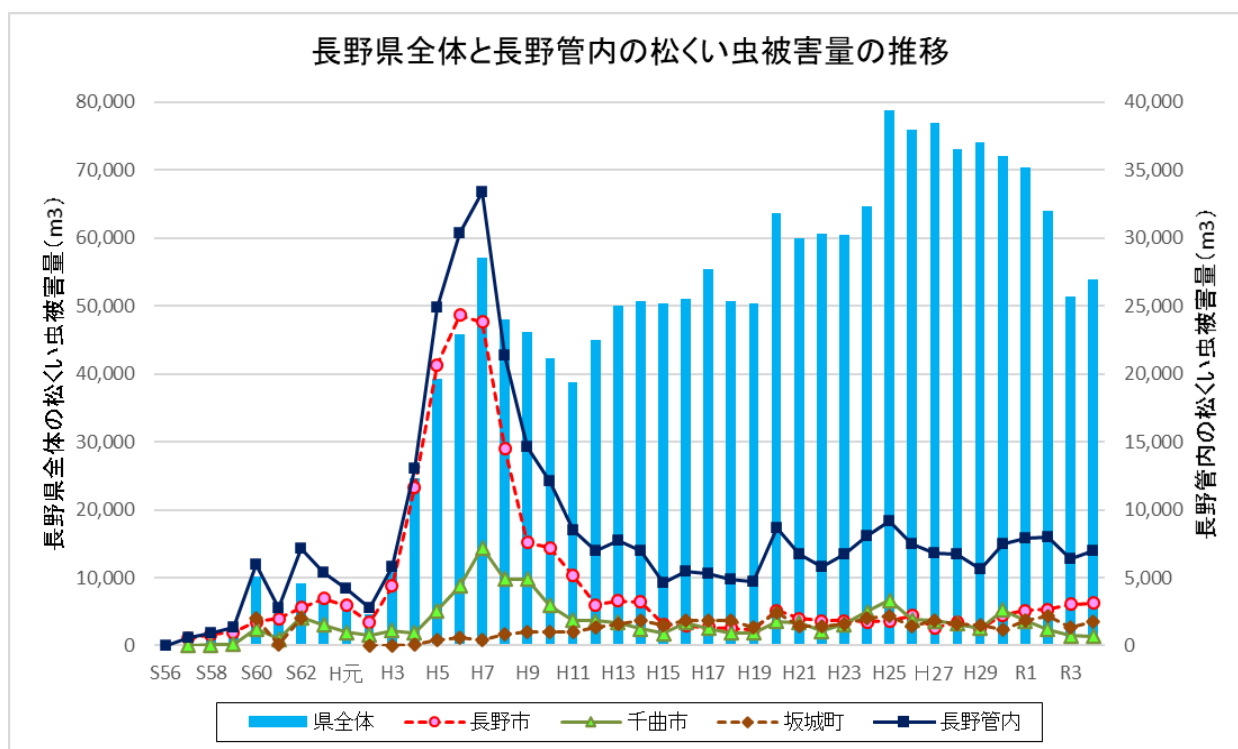
## 2 松くい虫防除対策

管内の松くい虫被害は、昭和 57 年に長野市で確認されてから被害区域が拡大している。被害対策としては、被害木の早期発見と適期の伐倒駆除を行うほか、ヘリコプターによる薬剤散布（特別防除）や地上薬剤散布を実施して被害の拡大防止に努めている。

【松くい虫防除対策事業の実績と計画】

(単位：千円、%)

区 分		令和 4 年度実績		令和 5 年度計画		前年比 (B/A)	
		事業量	事業費(A)	事業量	事業費(B)		
松林健全化 推進事業	被害木駆除	1,168m <sup>3</sup>	32,607	1,302m <sup>3</sup>	37,658	115.5%	
	空中薬剤散布(特別防除)	25.00ha	1,220	25.00ha	1,277	104.7%	
	安全確認調査	32 検体	1,568	32 検体	1,776	113.3%	
	薬剤防除効果等検証	—	—	—	—	—	
	地上薬剤散布	12.35ha	1,586	12.35ha	1,585	99.9%	
	無人ヘリコプター散布	4.50ha	438	4.50ha	583	133.1%	
	計		37,419		42,879	114.6%	
保全松林 緊急保護 整備事業	衛生伐	被害木駆除	1,542m <sup>3</sup>	47,438	1,655m <sup>3</sup>	69,238	145.9%
	樹種 転換	地拵、植栽	—	—	—	—	—
		除伐	—	—	—	—	—
	計		47,438		69,238	145.9%	
合 計			84,857		112,117	132.1%	



### 3 林内路網整備の推進

#### (1) 現 状

「森林づくり指針」に基づいた令和4年度までの県内目標路網密度は、21.6m/haであり、令和元年度末の実績は全県で21.0m/ha、長野管内で21.8m/haとなり目標を上回っている。

#### (2) 対応状況

林道事業の令和4年度実績及び令和5年度の計画は、下記のとおりである。

(単位：延長 m，事業費 千円)

事業区分	事業名	路線名	令和4年度実績		令和5年度計画	
			延長	事業費	延長	事業費
県営	開設事業	信濃町 古海線	300(1080)	72(8000)	900	50,240
	小 計		0	0	900	50,240
補助	開設事業	長野市 すずり石線	188	10,598	256	10,340
	改良事業	長野市 大川線	78	50,800	100	48,100
		須坂市 米子不動線	199	72,870	—	—
	点検診断	長野市 大川線	90	3,500	45	2,110
		長野市 釜岩線	—	—	82	2,110
	保全整備	千曲市 不動滝線	0	1,750.5	37	33,449.5
		須坂市 米子不動線	—	—	13	6,100
	PCB	高山村 山田入線	13	610	—	—
高山村 鞠子線		21	610	—	—	
小 計		589	140,739	533	102,210	
災害	林道施設災害復旧事業	長野市 (3路線4箇所)	13	1,980	46	14,850
		小川村 (3路線11箇所)	59	25,597	345	114,246
	小 計		72	27,577	391	129,096
合 計			661	168,316	1,824	281,546

(注) 事業費は、前年度からの繰越額及び年度内支払額としている。

(注) 令和4年度計画額は令和4年度実施予定事業費と令和3年度から繰越事業費としている。

(注) 災害の事業費は補助対象額とする。

(注) PCB…林道橋梁におけるPCB (ポリ塩化ビフェニル) 濃度分析

(単位：路線数 箇所，延長 m，事業費 千円) i, 延長 m，事業費 千円)

事業区分	事業名	令和4年度実績			令和5年度計画		
		路線数	延長	事業費	路線数	延長	事業費
森林作業道	林業再生総合対策事業						
	信州の森林づくり事業	26	21,450	30,488	26	21,450	30,488
	森林整備加速化・林業再生基金事業	補 助					
		県営林					
自 力				調査中		調査中	
合計		26	21,450	30,488	26	21,450	30,488



## 4 山地災害対策の推進

### (1) 現状と課題

当管内は山地災害危険地区が1,306箇所あり、この内概成は273箇所（整備率20.9%）となっており、県平均整備率20.9%と同率となっている。

近年は、ゲリラ豪雨と呼ばれる集中降雨に起因する山地災害が頻発していることから、危険個所に近接した集落の保全が喫緊の課題となっている。

今後も治山事業を計画的に実施して危険箇所の整備を進めていく必要がある。

### (2) 対応状況

山地災害防止に向けたハード・ソフト対策、多様な事業実施主体との連携を図り防災・減災に努め、住民の安全安心を確保する。

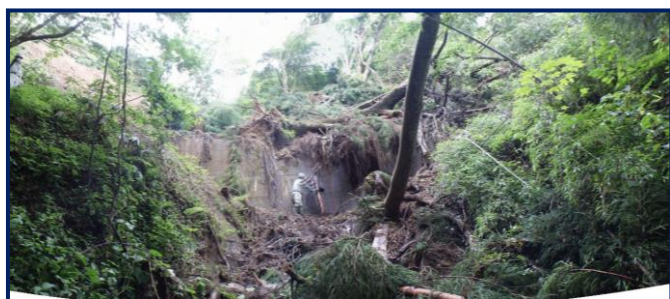
(単位：千円)

予算区分	区 分		令和4年度 (実績)		令和5年度 (計画)		前年対比 (B/A)
			箇所数	事業費(A)	箇所数	事業費(B)	
補助	山地治山総合対策	復旧治山	4	95,226	7	337,208	
		緊急総合治山	1	12,991	1	50,000	
		緊急総合地すべり防止			1	24,827	
		緊急予防治山	2	121,000	1	30,000	
		地すべり防止	1	12,764	1	30,000	
		緊急機能強化・老朽化対策	1	14,131			
	水源地域等保安林整備	奥地保安林保全緊急対策	1	17,451	1	28,749	
交付金	治山事業	予防治山	1	41,008	1	15,400	
		機能強化・老朽化対策	1	31,806			
小計			12	346,377	13	516,184	149%
災害	災害関連緊急治山		5	219,333	4	173,163	
	災害関連緊急地すべり防止		1	43,208			
	林地荒廃防止施設等災害復旧				1	40,788	
小計			6	262,541	5	213,951	81%
公共 計			18	608,918	18	730,135	120%
県単 計			28	163,130	23	90,139	55%
合計			46	772,048	41	820,274	106%

(注1) 件数：工事件数（委託件数は含まない）

(注2) 事業費：前年度からの繰越額＋年度内支払額

### 荒廃林地の復旧



長野市 宇 姥久保

### 老朽化した施設への対策



千曲市 宇 寄合沢

## 5 木材利用の促進

### (1) 現状と課題

人工林を中心に森林資源が充実しており、間伐から主伐へのシフト、県外合板工場での国産材需要増等により素材生産は増加してきたが、第3次ウッドショックの影響により、近年の生産量は減少傾向にある。このような中、「長野県内の建築物等における県産材利用方針」に基づき、公共施設をはじめ民間施設や公共工事等への積極的な活用を進め、輸入材から地域材への転換を促進する必要がある。

#### 【素材生産量の推移】

(単位：m<sup>3</sup>)

年	H24 (10年前)	H29 (5年前)	H30	R元	R2	R3 (最新値)	R3/ 10年前	R3/ 5年前
国有林	20,418	27,942	31,089	32,738	20,022	28,109	137.7%	100.6%
民有林	48,955	49,027	54,772	50,214	46,873	37,543	76.7%	76.6%
計	69,373	76,969	85,861	82,952	66,895	65,652	94.6%	85.3%

出典：令和4年度長野県木材統計（令和3年1月～12月）

### (2) 森林税活用事業（R5計画については公募のため未確定）

公共施設や幼稚園、店舗等の木造・木質化、木の調度品等の設置、子どもが行う木工体験活動等を支援しているほか、近年では市町村の公共サインの整備への支援にも取り組んでいる。

(金額単位：千円)

区 分		R3実績	R4実績	前年度比
「子どもの居場所」 木質空間整備事業	対象件数	4	9	225.0%
	補助金額	1,364	5,025	368.4%
木づかい空間整備 事業（補助事業）	対象件数	2	3	150.0
	補助金額	2,302	6,077	264.0
木づかい空間整備 事業（県直営事業）	対象件数	1	0	皆減
	事業費	4,972	0	皆減
木工体験活動支援 事業	対象件数	5	6	120.0%
	補助金額	1,513	1,584	104.7%
県産材公共サイン 整備事業	対象件数	2	1	50.0%
	補助金額	590	96	16.3%
計	補助金額等	10,741	12,782	119.0%



「子どもの居場所」木質空間整備事業  
こどなcafé（長野市東後町）



木づかい空間整備事業  
のもと酒店（長野市松代）

## 6 野生鳥獣の被害対策

### (1) 概要

地域の実情に応じた野生鳥獣対策について、住民の主体的な取り組みにより野生鳥獣を集落に寄せつけない意識を醸成するため、野生鳥獣被害対策チームの活動等により、集落毎の防除方法や有害鳥獣の生態に関する研修等の場を設けるとともに、鳥獣の特性を踏まえた防除対策・捕獲対策・生息環境対策を総合的に進める。

また、市町村が行う個体数調整や被害対策実施隊活動等を支援する。

### (2) 農林業被害の状況

管内の被害は、鳥類（カラス等）、イノシシ、ニホンジカ、ハクビシンが多くを占めている。

【野生鳥獣被害額の推移】 (単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
農業被害	99,914	95,530	96,816	99,346	95,175
林業被害	2,368	192	144	8	184
計	102,282	95,722	96,960	99,354	95,359
全県	836,110	795,427	739,890	741,891	731,552

### (3) 被害対策 【補助事業の実績と計画】 (単位：千円)

区 分	令和 4 年度実績			令和 5 年度計画			前年 度比 (補助)
	市町 村数	事業費	補助金額	市町 村数	事業費	補助金額	
○野生鳥獣総合管理対策事業							%
・大型獣緊急捕獲・放獣	5	1,582	844	9	1,298	1,108	131
・捕獲用檻・わな購入	2	365	181	3	1,201	601	301
・個体数調整	5	2,320	471	7	2,415	391	83
・新規銃猟者確保支援	0			1	105	23	
・鳥獣被害対策実施隊員支援	5	655	327	7	1,076	443	
・集落等捕獲隊活動支援	1	264	132	1	364	182	138
・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援	9	31,802	19,736	9	-	23,723	120
・総合支援	1	1,206	1,206	1	8,214	6,500	538
計	9	38,193	22,897	9	-	32,971	143

### (4) 長野地域野生鳥獣被害対策チームの取り組み

構成：長野地域振興局林務課、

長野農業農村支援センター（農業農村振興課・技術経営普及課）

設立：平成 19 年 12 月 3 日

#### 【令和 4 年度の主な活動】

- ・管内の有害鳥獣対策委員会等（協議会等を含む）で鳥獣対策の研修会を実施
- ・地域からの要望により、果樹類等の研修会等で鳥獣対策の研修会を実施
- ・管内全域を対象とした野生鳥獣被害対策研修等を開催
- ・鳥獣被害防止や電気柵設置に関する各チラシ、パンフレットを市町村、関係機関等に配布
- ・クマ出没時の緊急対応（現地調査、電気柵設置、誘因物の管理指導等）

## 7 森林と人が関わる仕組みづくり

### (1) 地域住民等の主体的な参画による里山の整備

地域住民等が協働で里山の整備や森林資源の多面的な利活用を進めることで、人と森林との関係の再構築を図り、自立的・持続的な森林管理を推進している。

また、里山利用地域において地域住民等で組織した協議会等が行う整備・利活用活動の支援(里山整備利用地域活動推進事業)や当該活動を自立的・持続的に行うのに必要な資機材等の導入支援(里山資源利活用推進事業)を行っている。

#### 【里山整備利用地域の認定状況】

認定年度	市町村	地域名	中心となる集落名	面積(ha)	活動主体の名称
H30	須坂市	離山	豊丘	3	離山を守る会
	長野市	七二会	坪根(滝谷)	108	NPO 法人信州フォレストワーク
	須坂市	臥竜公園	小山、南原、北原	16	臥竜公園里山整備利用推進協議会
	須坂市	塩野	塩野	63	塩野地区利用推進協議会
	長野市	浅川	台ヶ窪	112	あさかわの里山と森を守る会
	坂城町	上平	上平	446	上平森林協働整備協議会
	長野市	戸隠豊岡	豊岡	58	戸隠森林整備クラブ
R元	信濃町	柏原上ノ原	上ノ原	21	日中友好の森林づくり推進協議会
	長野市	七二会2	論地	5	七二会里山整備利用推進協議会
	信濃町	富が原	富が原	172	富が原里山整備利用推進協議会
R2	坂城町	中之条	中之条	371	中之条区里山整備協議会
	須坂市	井上	井上	15	井上城址さくらの会
R3	千曲市	小坂山	桑原小坂、稲荷山元町	37	千曲市川西地区振興連絡協議会里山整備部会
R4	長野市	信州新町信級	信級	824	信級きぼうの森
	千曲市	一重山	屋代	13	一重山みらい会議

#### 【里山整備利用地域への支援状況】

(金額単位:千円)

区 分		R3実績	R4実績	前年度比
里山整備利用地域活動推進事業	対象地域	9	5	55.0%
	補助金額	6,264	3,480	55.5%
里山資源利活用推進事業	対象地域	3	2	66.0%
	補助金額	1,544	1,252	81.1%
計		7,808	4,732	60.6%

### (2) 多様な森林空間の提供

県民の森林レクリエーションや森林・林業に関する知識の普及を図る場として戸隠森林植物園と森林学習館の管理を行っている。

#### 【戸隠森林植物園・森林学習館の利用実績】

(単位:人)

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
森林植物園	151,069	141,597	132,213	109,459	30,790	43,715	87,990
森林学習館	19,004	17,612	14,583	14,259	6,590	7,150	9,500

(注) 森林学習館の利用者数は、森林植物園利用者数の内数である。

平成 24 年 7 月から「八十二森のまなびや」に名称変更（ネーミングライツ協定）

## 8 森林環境教育の推進

管内小中学校で設立されているみどりの少年団における活動支援や小中学生、保護者、教職員等の指導者及び一般県民等を対象とした作業体験等を開催している。

また、学校林を活用した森林環境教育を推進するため、学校林の整備支援や指導者の派遣、資機材の導入を行っている。

### 【みどりの少年団の設立状況（令和 5 年 4 月現在）】

区 分	設 立 年 度	設立団数	対象学年	団 員 数
小 学 校	昭和 55 年度～令和 4 年度	43 団	1～6 年生	8,042 人
中 学 校	昭和 61 年度～令和 4 年度	10 団	1～3 年生	1,962 人
計		53 団		10,004 人

(注) 信濃町立信濃小中学校のみどりの少年団は小学校の区分に含めている。

### 【学校林等利活用促進事業】

(金額単位：千円)

区 分		R 3 実績	R 4 計画	前年度比
学校林の整備支援 (県立学校以外)	対象件数	3	6	200.0%
	補助金額	288	999	346.8%
指導者の派遣及び資機材の導入 (県立学校以外)	対象件数	5	4	80.0%
	補助金	548	224	40.8%
学校林の整備支援 (県立学校)	対象件数	0	0	0.0%
	事業費	0	0	0.0%
計	金 額	836	1,223	146.3%

